



# よろこび便り

天成一会 小林内科診療所 腎透析センター

小林内科診療所に新院長が来られました。  
今回は新院長 原口総一郎先生からのお言葉をご紹介します。

## 原口院長プロフィール

出身：長崎県大村市生まれ 1歳より小学校まで埼玉県狭山市  
中高校：長崎市内 大学：佐賀大学  
趣味：野球 テニス ゴルフなど運動好きです  
家族：妻と子供2人



### 元気でいるにはリン管理が大切です。

- ①血液透析治療で一番大切なのは、リン管理ともいわれるほどです。  
日本透析医学会もリンの値が高い患者さまは、寿命を短くすることを伝えました。何故かといいますと、心臓や全身の血管にリンが石灰化を起こし血管を詰まらせるからです。それによって心筋梗塞や動脈硬化を発症します。長年かけてゆっくり命の危険にさらされていきます。
- ②また、リンの値が高いと副甲状腺から分泌するホルモンを増やしてしまいます。その結果、骨が弱くなり骨折が起きやすくなります。
- ③当院では、月に2度ほど血液検査を行い厳しくリンの値を管理しております。
- ④透析のリンの目標値は、3.5~6.0mg/dlです。  
6.0mg/dl以上の方は、回診の時に指導しております。
- ⑤まずは、肉やお魚に多く含まれるたんぱく質を制限しましょう。  
また、冷凍食品にもリンが多く含まれますので出来るだけ控えてください。
- ⑥リン吸着剤などの内服薬もあります。必要な方には処方しておりますので  
服用してください。
- ⑦もう一度、言います。元気でいるにはリン管理が大切です。